

科目名	身体障害評価学実習Ⅰ			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科1年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
作業療法の身体領域で使用されている評価と評価法に関する知識及び技法を演習を通して学習する。							
〔授業全体の内容の概要〕							
実技を中心とする。それに関する必要な知識・技術に関しては学生達も演習を実施する。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
作業療法の身体領域で使用されている評価と評価法に関して説明でき、実技を実施することが出来る。							
回数	講義内容						
1	ROM講義（意義・目的・記録方法等）						
2	ROM実技（上肢）						
3	ROM実技（上肢）						
4	ROM実技（上肢）						
5	ROM実技（下肢）						
6	ROM実技（下肢）						
7	ROM実技（下肢）						
8	ROM実技（下肢）						
9	ROM実技（手指）						
10	ROM実技（手指）						
11	ROM実技（手指）						
12	ROM実技（手指）						
13	ROM実技（頸部・肩甲帯・体幹）						
14	ROM実技（頸部・肩甲帯・体幹）						
15	ROM実技テスト（上肢・手指）						
16	ROM実技テスト（上肢・手指）						
17	ROM実技テスト（上肢・手指）						
18	ROM実技テスト（上肢・手指）						
19	ROM実技テスト（下肢）						
20	ROM実技テスト（下肢）						
21	ROM実技テスト（下肢）						
22	ROM実技テスト（下肢）						
23	まとめ						
	定期筆記試験						
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名		出版社			
標準作業療法学 作業療法評価学		岩崎テル子他		医学書院			
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】							
履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする							